

ヒシモドキ

Trapella sinensis Oliv.
ゴマ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠB類

選定理由

過去に確認記録があるが、1965年以降の確認情報がなく、現状では絶滅した可能性が高い。

分 布

本州、九州に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

池や沼に生える多年草。茎は細長く伸びて水中を漂い、節から根と葉を出す。水中葉は細く披針形、水上葉は3角状円形から腎円形で先の鈍い鋸歯がある。7～9月頃、葉腋から2cmほどの花柄を伸ばし、淡紅色の花を水上に出す。花冠は筒状で、筒部は黄色である。

絶滅した要因

生育地である池沼の開発や水質汚濁、植生遷移による生育環境の悪化のほか、産地が限られていることによる。

参考文献 若杉孝生（2008a）、佐竹義輔ほか（1981）、福井県自然保護課編（2004）

| 市 町 別 生育情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|---------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| | ● | | | | | | | | | | | | | | | | ● |

ガガブタ

Nymphoides indica (L.) Kuntze
ミツガシワ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：県域絶滅

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

過去に確認記録があるが、1964年以降の確認情報がなく、現状では絶滅の可能性が高い。最も新しい採集記録は1964年。現在では公園等に植栽されたものがみられる。全国的にも減少が著しい。

分 布

本州～九州に分布。本県では、坂井市で採集された記録がある。

種の特徴

溜池や沼に生育する多年生の水草。葉は直径7～20cmの卵状円形、水面に浮く。花期7～9月。花は白色、直径約1.5cm、中心部は黄色。花冠の内面には長い白毛が生える。果実は楕円形、長さ約4mm、種子は光沢がある。

絶滅した要因

池沼開発、園芸採取、水質汚濁、帰化競合。

参考文献 林弥栄ほか（2013）

| 市 町 別 生育情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|---------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| | | | | | | | | | | | ● | | | | | | |

アサザ

Nymphoides peltata (S.G.Gmel.) Kuntze
ミツガシワ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：県域絶滅

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

福井県生物目録(1933)に採集記録がある。採集記録から50年以上が経過しており、近年確認の情報がなく現状では絶滅の可能性が高い。

分 布

本州～九州に分布。本県では坂井市に自生していた記録がある。

種の特徴

湖沼に生える多年生の水草。葉身は卵形～円形、直径4～10cm、基部は深く切れ込む。縁に波状の低い鋸歯がある。裏面は紫色を帯びる。花期は6～8月。花は黄色、直径3～4cm、花冠は5深裂し、縁毛がある。

絶滅した要因

池沼開発、園芸採取、水質汚濁、帰化競合。

参考文献 林弥栄ほか（2013）、福井県（1933）

| 市 町 別 生育情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|---------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| | | | | | | | | | | | ● | | | | | | |